

令和6年度 施政方針

多くの人たちのたゆまぬ努力によって成長を積み重ねてきた菊川市。令和6年度は、未来に向けて、「安全安心」「未来」「幸せ」をキーワードとした3つの基本方針に基づき、市政運営に取り組んでいきます。ここでは、菊川市議会2月定例会で長谷川寛彦市長が述べた令和6年度施政方針の概要を紹介します。

問い合わせ 企画政策課企画係(☎35-0900)

さらに前へ住みたいまち菊川

この3年間、議員各位をはじめ、市民の皆さまのご支援、ご理解をいただきながら、地域コミュニティ、産業、教育、福祉、都市基盤整備など、どの分野においても潜在能力の高い菊川市をさらに前へ進め、住みたいまち菊川市をつくっていくというゆるぎない信念のもと、市政の更なる発展に向け全身全霊で取り組んでまいりました。

人口は、2050年までの30年間で減少が進むことが予測されており、

人生100年時代を見据えて

昨年の市政懇談会で、「人生100年時代」と申し上げてきました。人口減少・少子高齢化を迎える局面を、転入者数や定住者数を増やすことなどで人口減少の緩和を図るとともに、少子高齢化に柔軟に適応していく持続的なまちづくりに挑戦していくことで、「人生100年時代」という次なるステージへと飛躍するべく、未来に向かって活力ある菊川市を、高齢者から若者まで誰もが幸せを実感できるまちへと進化させていかなければなりません。本市は令和7年1月に市制20周年を迎えます。今日に至る発展は、長年にわたり多くの人たちのたゆまぬ努力によるものであり、まちを支えるすべての皆さまに感謝するとともに、未来の菊川市に向かってしっかりと次世代に繋いでいくことが私たちの使命であります。そして、まちの魅力や強みを伸ばすことで菊川市らしさを発揮していくこと、さらに誰もが

住みやすく、高齢者から若者まで誰もが幸せを実感できるまちをつくっていくことが、「人生100年時代」に向けた挑戦にほかならないと考えております。

夢と希望あふれるまち

また、昨年末、市民の皆さまに来年の一字を募集したところ、もつとも多くの人が選んだ漢字は「夢」でした。「夢や希望が溢れる1年であってほしい」といった願いが込められていると感じております。20年間、成長を続けてきた菊川市を、未来に向けて「夢と希望に溢れたまち」として引き継ぎ、そして、さらに進化させていくことを目指し、私をはじめ全職員が一



※施政方針の全文は、市ホームページ(下記)からご覧いただけます。



丸となり、創意工夫を重ねながら、知恵を絞り、汗をかき、「さらに前へ！住みたいまち菊川市!!」の実現に向けて邁進してまいります。